



# たま病院ニュースレター

TAMA Hospital News Letter 2023



## アナフィラキシーについて

アレルギー科 部長 今村愉子

“アナフィラキシー”は、食物、医薬品、ハチ毒、造影剤、ラテックスなどのアレルゲンに対する重篤な全身性の過敏反応であり、皮膚・粘膜症状（全身性じんま疹、皮膚の赤みやかゆみ、口唇やまぶたの腫れなど）、呼吸器症状（息切れ、気道狭窄、呼吸困難、喘鳴など）、消化器症状（嘔吐、腹痛、下痢など）が複数の臓器に同時にしかも急速に現れます。とくに急激な血圧の低下や意識レベルの低下などの循環器症状、神経症状を伴う場合を“アナフィラキシーショック”と呼び、すぐに治療しなければ命を落とすこともあります。多くの場合、アレルゲンにさらされると数分から30分以内に症状が進行するため、アナフィラキシーを疑ったらすぐに救急車を要請し、一刻も早く医療機関でアナフィラキシーの第一選択薬であるアドレナリンの筋肉注射などの治療を受ける必要があります。

過去にアナフィラキシーの既往がある人やアナフィラキシーを起こす危険性の高い人は、専門の医師にアドレナリン自己注射薬（エピペン®）を処方してもらい、常に携帯しておくことをお勧めします。症状が現れた時に本人や家族、救急救命士が大腿部前外側に筋肉注射することで、医療機関で治療を受けるまでの間、症状の進行を一時的に緩和することができるからです。血圧上昇作用、気管支拡張作用を持つアドレナリンの筋肉注射は即効性かつ有効性のある最も優先すべき治療法ですが、エピペン®はあくまでも補助治療薬です。一回の注射では改善しないことや一旦症状が治っても数時間後に再び症状が現れる“二相性反応”が起こることがあるため、使用後は必ず直ちに医療機関を受診してください。

### 日本におけるアナフィラキシーショックによる死亡者数

西暦(年)	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
総数(人)	71	55	77	52	55	69	50	51	62	54
食物	5	2	2	0	0	2	4	0	1	2
医薬品	32	22	37	25	23	29	24	10	10	8
ハチ毒	16	22	24	14	23	19	13	12	11	13
血清	0	0	1	1	1	0	0	1	0	0
詳細不明	18	9	13	12	8	19	9	28	40	31

## 部門紹介

# アレルギー科

近年、アレルギー疾患を有する人の数は増加し、国民の約2人に1人が何らかのアレルギー疾患を罹患しているといわれています。

アレルギー科では気管支喘息・咳喘息・アトピー咳嗽・花粉症・食物アレルギー・アナフィラキシーなどの内科的なアレルギー疾患の診断・治療・管理指導を行っています。1人の患者さんで複数のアレルギー疾患を有していることも多いため、必要に応じて呼吸器内科・皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科などと連携して治療を行います。

当科の特徴として、難治性喘息（重症喘息）に対する生物学的製剤の導入、花粉症・食物アレルギー・アナフィラキシーに対するアレルギー特異的IgE抗体検査による原因抗原の同定、アレルギー免疫療法（皮下免疫療法・舌下免疫療法）、エピペン®の処方などが挙げられます。



## …… 新たに感染管理認定看護師誕生しました ……



2022年度に感染管理認定看護師の資格を取得しました。感染対策に関する専門的知識をもとに、患者さんや職員など病院に関わる人を感染から守る、感染を拡大させないことを役割として活動をしています。具体的な活動内容としては、施設に合ったマニュアル作りや、感染防止技術の実践及び指導、院内ラウンド、感染対策に関する相談などがあります。また、2022年には診療報酬が改定され、新興感染症への対策強化が義務付けられ、地域の保健所や医療機関との連携が求められています。今後も迫り来るであろう新興感染症の脅威に対して地域全体で取り組めるよう、密に情報交換や訓練を行い、連携を図っていきたくと考えています。どうぞ、よろしくをお願いします。

## 大腿骨近位部骨折の再骨折予防を多職種連携で実施しています

高齢人口の増加に伴い、寝たきりの原因となる大腿骨近位部骨折が増えています。この骨折の原因の一つに骨粗鬆症があります。そこで当院では、2022年4月より大腿骨近位部骨折で入院された患者様の再骨折予防のために、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士など多職種で連携し、より早期から骨粗鬆症の評価、必要な治療を行っています。また再骨折予防は、当院だけでなく退院・転院後も継続的に実践していきます。



たま病院ニューズレター  
No.39 令和5年度 春号

川崎市 川崎市立多摩病院

聖マリアンナ医科大学  
指定管理者